

ひろしまネウボラの取組状況について

目的

子育てに関する不安や負担を軽減し、**子供を希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備**に向けて、地域の関係機関と一体となって、妊婦や子育て家庭の不安や悩みに寄り添い、見守り、支援す「ひろしまネウボラ」の仕組みを構築すること。

理念

広島で生まれ、育つすべての子供たちの健やかな育ちに向けて、広島で子育てをするすべての人が、**地域とのつながりを感じ『あたたかく見守られている』と心から実感できる**社会を実現する。

事業概要

【ひろしまネウボラの取組】

◇面談回数の追加・完全な全数把握

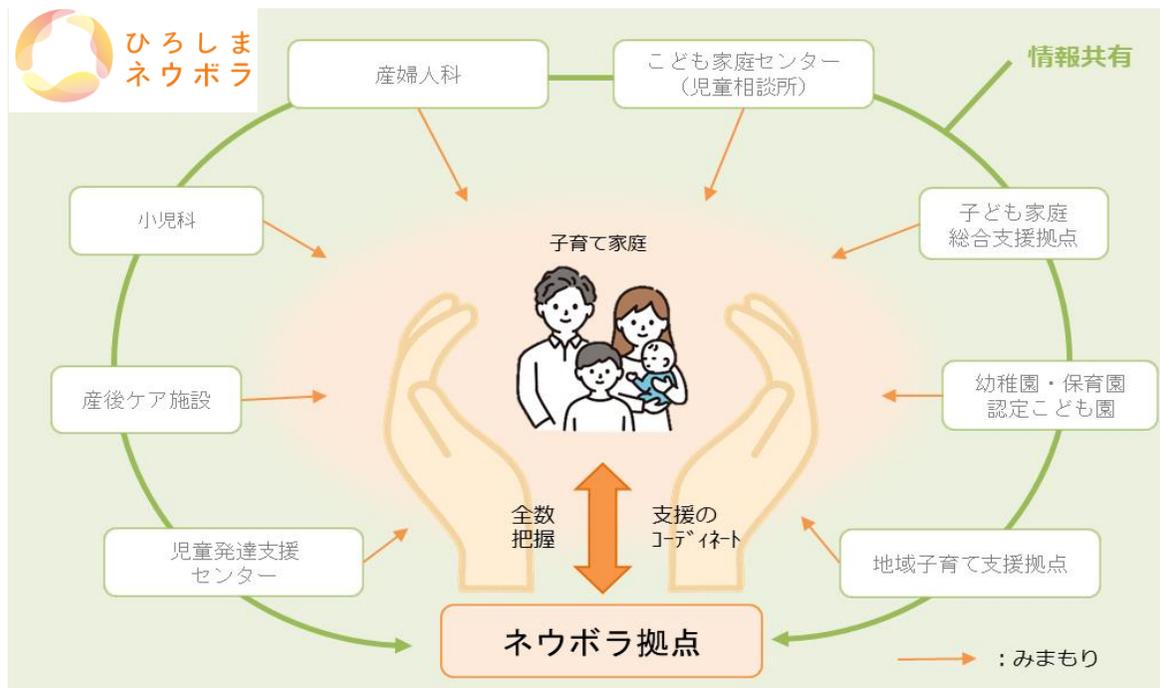
- ⇒国が求める5回の面談に2回以上追加し、妊娠期（母子健康手帳交付時）から3歳までの間に**計7回以上の面談**を実施
- ⇒国が求める5回の面談については、**100%の家庭の状況を把握**

◇関係機関との連携

- ⇒支援が必要な家庭の基準を医療機関や保育機関等の関係機関と共有し、当該基準に基づいて市町に情報提供する**仕組みの構築**

◇子育て家庭に選ばれる相談窓口

- ⇒拠点に配置されたネウボラ相談員が、**氏名を明示した上で**、妊娠期（母子健康手帳交付時）から**継続して対話**を実施



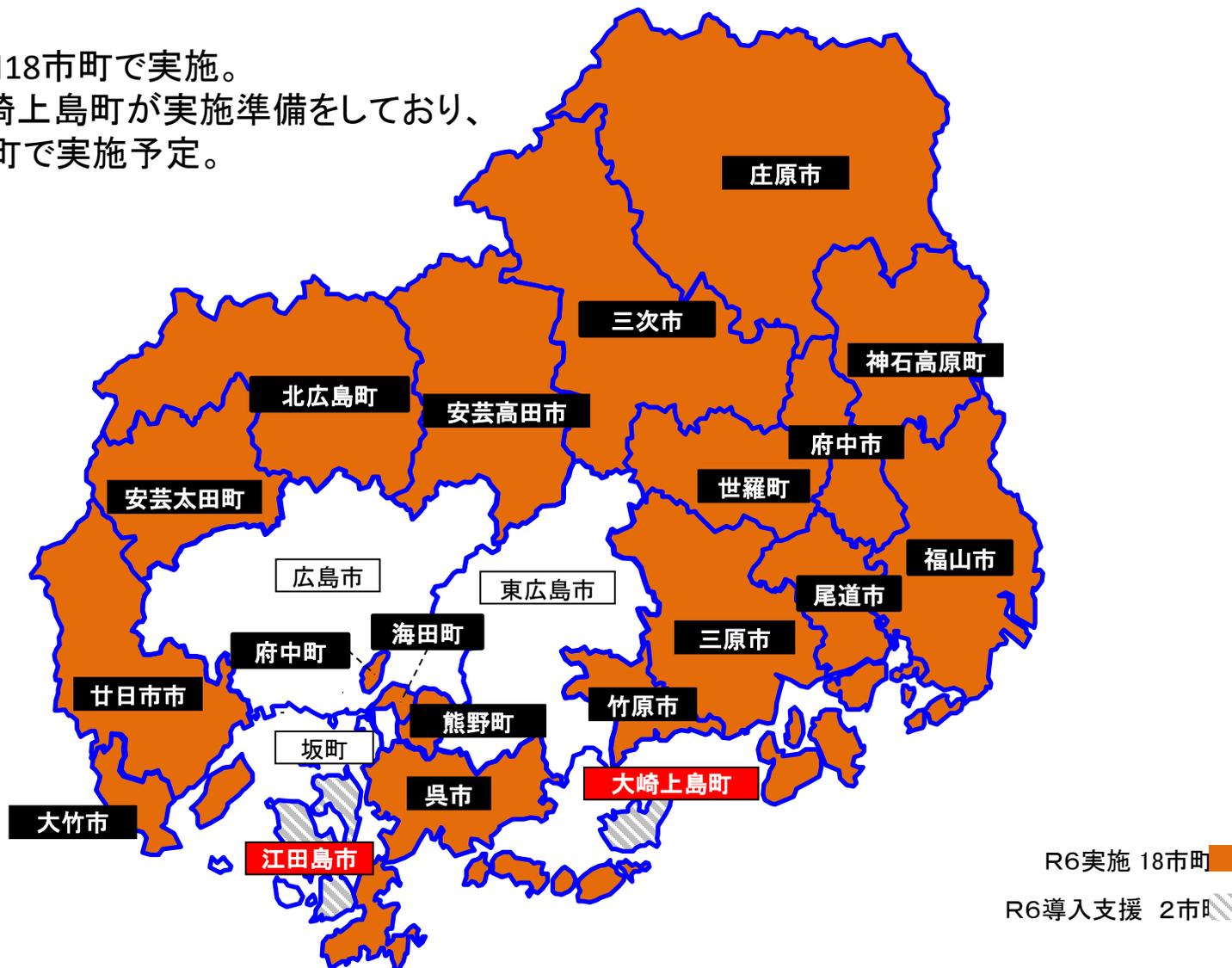
※ネウボラとは、フィンランド語でアドバイスの場「Neuvo la」という意味。フィンランドにおいて妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う拠点。

ひろしまネウボラ実施市町



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

- ・R6年度は県内18市町で実施。
- ・江田島市と大崎上島町が実施準備をしており、R7年度は20市町で実施予定。



R6実施 18市町
R6導入支援 2市町

完全な全数把握（アプローチ率100%）の状況



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

市町職員の働きかけ（個別のアプローチ）などにより、5回全てのコンタクトタイミングにおいて99%以上の状況把握ができている。

【指標】面談対象者のうち、状況を把握することができた人数の割合（令和6年6月末現在）

コンタクトタイミング	令和5年度	
	全数把握率	(参考) 自主的・面談参加率
母子手帳交付時	100%	99.62%
乳児家庭全戸訪問	99.99%	96.98%
乳児前期健診（4か月頃）	99.97%	92.13%
1歳6か月児健診	99.93%	88.62%
3歳児健診	99.85%	89.35%

目指す姿の実現へ向けてさらに加速するため、全てのネウボラ実施市町にアンケートやヒアリングを行い、今後強化すべき取組を検討し、以下のとおり取組の方向性を定めた。

今後、それぞれの項目の具体的な取組手法について、市町とともに検討し実施する。

【強化すべき取組】

取組	現状	課題	取組の方向性
全数把握	妊娠期から3歳までの間に計7回以上の面談を実施している。	面談回数のルールは徹底されているが、信頼感を得るために必要な、利用者視点に立った面談対応が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者視点に立った面談対応力を向上させる。 ・特に不安を抱えやすいと考えられる第一子妊娠期の子育て家庭への支援の強化を検討する。
関係機関連携	関係機関からネウボラ拠点に対して、子育て家庭の状況を情報提供する仕組みが構築されている。	リスクのある家庭への、ネウボラ拠点からの支援のつなぎ先が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の発達を相談できる専門家や産後うつ対応ができる精神科など、支援のつなぎ先の不足について、市町域を越えた広域的な支援の仕組みの構築を検討する。